ハビタット福岡市民の会　ニュースレター　　発行 ２０１０年４月１５日

Citizens Net for UN Habitat Fukuoka
ハビタット福岡市民の会

２９号の主な内容

■総会＆講演会開催
■国連ハビタット福岡本部との交流会
■絵本フォーラム　■ハイチ大地震募金報告
■モンゴルあれこれ（轟さんの報告）
■職員紹介（戸次淳子さん）

第29号
http://cnhf.npgo.jp

■総会＆講演会開催

2010 年 2 月 25 日（木）ハビタット福岡市民の会総会およびアンジェラさん（国連ハビタット福岡本部）の講演会を川端中央商店街振興組合事務所の会議室で開催しました。

総会では、第１号議案の 2009 年活動報告、第２号議案の 2009 年会計報告、第３号議案の 2010 年活動計画、第４号議案の 2010 年運営委員がそれぞれ承認されました。（佐竹）

○２００９年会計報告

＜収入の部＞

前期繰越し	１１７，５４５円
会費収入	４６，０００円
支援金他	４１，１８７円
収入合計	２０４，７３２円

＜支出の部＞

ニュースレター印刷費	３６，０００円
ＦＵＫＵＮＥＴ年会費	２，５００円
地球市民どんたく負担金	４，０００円
切手代	１，５７０円
郵便振替手数料	１，２４０円
次期繰越し	１５９，４２２円

○２０１０年活動計画

定例会を毎月原則として第３木曜日に実施
ニュースレターを４月、８月、１２月に発行
地球市民どんたくに出展（１１月）
国連ハビタット福岡本部の行事への協力
国連ハビタット福岡本部との交流会の実施
などを計画。詳細は、４ページを参照下さい。

○２０１０年の運営組織

代　表	牟田慎一郎（日本ハビタット協会福岡支部長）
副代表	佐竹芳郎
事務局長	諸藤恵子
会　計	山前隆
監　事	島祐二郎
ＨＰ担当	橋詰順一郎
運営委員	山口明巳　ほか若干名

総会の後、国連ハビタット福岡本部職員のアンジェラさん（コロンビア出身）により、ハビタットの役割やプロジェクトの活動内容など興味深い話をしていただきました。

■国連ハビタット福岡本部との交流会

2009 年 12 月 10 日国連ハビタット福岡本部の職員の皆さんと共にアクロス福岡地下のグランチャイナ（中華バイキングレストラン）で交流会を行いました。

福岡本部からは、ラリスさん、アンジェラさん、ローウィさん、アフガニスタンから一時帰国中の川嵜さんに参加していただき、ハビタット福岡市民の会からは、佐竹、諸藤、山前、山口、橋詰、大島、星田の７人が参加しました。

クリスマスパーティを兼ねた交流会であり和気あいあいの楽しいひと時を過ごしました。（佐竹）

■絵本フォーラム

１月 16 日にアクロス福岡円形ホールにて「子どもたちが思い描く未来～今、子どもたちのために出来ること」が開催されました。一部のワークショップでは子ども達が様々な素材を使って、それぞれ思い思いの街を作りました。二部では国連ハビタット福岡本部の野田本部長と九州大学大学院特任教授の目黒実氏により「物語が教えてくれるまちのこと」をテーマに講演が行われました。

目黒実氏は全国各地の図書館、美術館、科学館などで「絵本カーニバル」を行っているほか、新しい子ども学の構築、子どもの居場所作り、子ども向けコンテンツなどの活動を行っています。子どもたちの中で絵本は想像力を駆使することによって立体化され「掌の中の劇場」とも云われている。物語は人や個人が身をもって経験したことを集団に伝える方法でもあり、「人生は生きるに値する」というメッセージを伝えていると述べられました。また、日本の教育体系は見直されるべきであり、それには変化を楽しむことが大切で、一つの勉強に収まってはいけないと述べられました。

野田本部長はアフガニスタンでは子どもたちがレンガを作り、家を建てるお手伝いをしている。コミュニティの中に多様な価値観があり、人間らしい絆があると述べられました。

それに対し目黒氏は、世界的に有名な絵本は実は自分の姪や甥などに身近で語りかけているような物語であり、それが広く人々に訴えるような普遍性を持つことがある。初めから世界を意識して作ったものではないことが多い。「魔女の宅急便」では主人公は空を飛ぶことしかできず、最初に街を探すことから始まる自立の物語である。絵本は自立やコミュニティの中でのわかちあいなどを伝え、生きようとする情熱を掻き立てる希望のメッセージであると伝えられました。（諸藤）

ハイチ大地震募金活動報告

日本ハビタット協会福岡支部では、１月 12 日に発生したハイチ大地震災害支援募金活動を行い福岡空港国際線 82,108 円国内線 32,230 円、小郡市役所 34,557 円の合計 148,895 円の浄財が集まりました。ご協力に厚く御礼申し上げます。

小郡市役所に設置された募金箱

■モンゴルあれこれ

ハビタット福岡市民の会の会員で、国連ハビタット・コンサルタントの轟由紀さんよりモンゴルの報告をしていただきました。

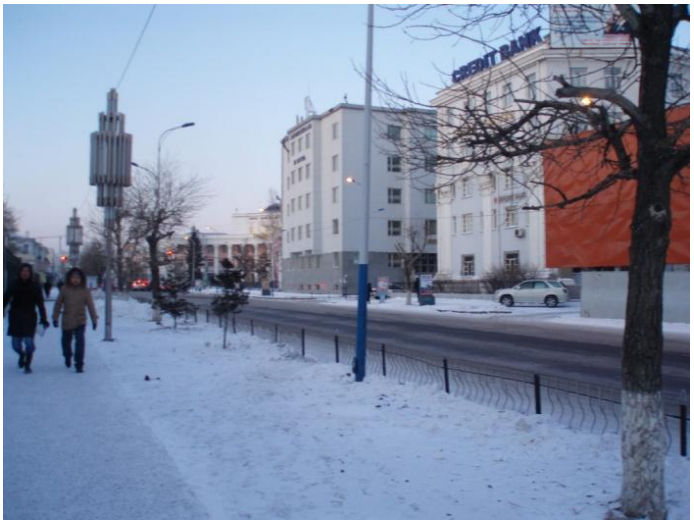
プロジェクト事務所にて正装のスタッフと

現在、国連ハビタットでは、モンゴルの首都ウランバートル市において、「ゲル地区生活環境改善計画」事業（日本政府の資金供与）を実施しています。私は、この事業のコンサルタントとして、2010 年２月に極寒（マイナス 20～30 度）のウランバートル市に３週間滞在しました。

モンゴルといえば、「朝青龍・白鵬」「スーホの白い馬（馬頭琴、大草原）」など、日本人にとって身近なイメージがあるのではないでしょうか。今号では、筆者の出張中の経験談をお伝えし、読者の皆さんにますますモンゴルを身近に感じていただきたいと思います。

ウランバートルってどんな町？

モンゴルの人口は広大な国土（日本の４倍）に対して、たった 270 万人ですが、そのうちの 100 万人以上が首都ウランバートル市に住んでいます。近年、移住の自由化や深刻な雪害により、草原での牧畜生活を捨て、首都に移住する人々が急増しています（過去 10 年で２倍）。



首都中心部：ソ連体制下の整然とした街並が残る

ゲル地区：柵で囲った敷地にゲル（テント）や簡易な家を建てる。
上下水・道路・学校などの基礎インフラが未整備。

近代的な首都中心部の郊外に、こうした移住者が住むゲル地区が広がっています。

誰でも、タクシーの運転手になれる！

ウランバートルで驚いたのがタクシーの乗り方です。タクシーを呼ぶことは可能ですが、いわゆる「流しのタクシー」は見当たりません。そこで、道路の脇に立って片手を差し出しておけば、「タクシーになってもいい」と思う自家用車の運転手が止まってくれます。行きたい場所を伝え、降りるときに支払います（１km あたり 0.5 ドルが相場）。しかし、外国人の場合は、多めに請求されますし、かつて外国人が遠くに連れていかれて殺害された事件もあるので、できるだけモンゴル人と一緒に乗ることをお勧めします。ちなみに、ゲル地区は道が悪いため、車を拾ってもゲル地区の地名を伝えると、断られるケースが多いそうです。

朝青龍引退に現地の人は？

私の出張日の数日前に、朝青龍が引退に追い込まれました。日本の新聞報道によると、「ウランバートル市民が怒っている。」とのこと。新聞記事を切り抜き、質問に対応できるよう準備していきました。しかし、全くその話題はなく拍子抜け。終わったことにはあまり拘泥しない大らかな国民性、という印象を受けました。それでも、朝青龍の人気は非常に高く、引退後も「国民の英雄」であることには変わりありません。

お正月は餃子で来客をもてなす

私の滞在期間中に、モンゴルのお正月（ツァガーン・サル）がありました。元旦に備え各家では「ボーズ」といわれる餃子を大量に作り（冷凍庫は屋外）、年始回りで訪れる親戚や近所の人々に振舞います。ボーズの他に、「オーツ」という解体した羊１頭を骨付きのまま煮た料理も正月ならではのご馳走です。

オーツを前に年始挨拶、香水を嗅ぎ交わす

カラオケでは、演歌（オルティン・ドー）がお勧め

正月中も、ホテルにひきこもって仕事をしていた私のために、プロジェクト・チームがカラオケ・パーティーを開いてくれました。モンゴル人は歌が大好きで、歌も日本の歌謡曲に似たメロディーです。私が演歌を歌ったところ、「あなたの、long song は素晴らしい。」と大喝采。長い歌？短めの曲を歌ったのに。あとで調べたところ、モンゴル民謡に「オルティン・ドー（長い歌）」というジャンルがあり、ゆったりと長く引き伸ばしながら歌うのが特徴です。日本の演歌は、このオルティン・ドーと似ているのでしょう。モンゴルに親近感を感じた瞬間でした。

2010 年４月１日より、日本国籍者は、滞在日数が 30 日以内の場合、ビザが免除されることになりました。これで、モンゴルはますます日本に身近な国になると思います。

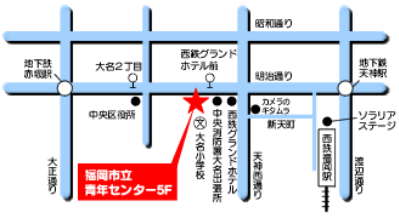
■職員紹介

今回は福岡県から出向で来られている調整官の戸次（へつぎ）淳子さんです。

○出身はどこですか？
福岡県の行橋です。
○大学では何を勉強しましたか？
日本の大学を卒業後、アメリカの大学院でビジネスを中心に勉強し、MBA を取得しました。
○なぜ国連ハビタットに就職したのですか？
県庁の国際交流局への異動希望をだしていたところ、運よく職員の間でも希望者の多い国連ハビタットへ 2 年間契約の出向となりました。思ったより大変な仕事という印象で、他のスタッフに関しても海外出張がこんなに多い職場とは思いませんでした。
○福岡事務所の前ではどんな仕事をしましたか？
福岡県のでは主に総合政策課で、経済分野のテーマを話し合う福岡アジア国際会議の経済分野の企画・運営に携わっていました。
○いつ福岡事務所に来られたのですか？
昨年（2009 年）の4月です。
○どんな仕事・プロジェクトを担当していますか？
協力委員会の地元の企業、県・市との調整を行なっています。また、昨年と同様、10 月第 1 月曜ハビタット・デーに多くの人に来てもらい成功するように仕事を行なっています。
○将来の夢は何ですか？
福岡県をもっと世界に知ってもらい有名にしたいという思いがあり、Fukuoka を盛り上げていきたいと思っています。
○印象に残った事は何ですか？
家族から離れていてもよく働き非常にタフな同僚に感心しました。
○モットーは何ですか？
「人生を楽しむ」です。
○趣味は何ですか？
読書と乗馬ですね。今、乗馬クラブに通っています。馬の乗り方には、ブリティシュとウエスタンがあるのですが、私はブリティシュで練習しています。特に、馬の世話をしていると癒されます
○福岡の印象はどうですか？
海もあり、山も近いので住みやすいです。海の幸、魚がおいしいですね！
戸次さん、忙しい中インタビューに応じていただきありがとうございました！　（山前、橋詰）

■今後のスケジュール

５月 20 日（木）19：00～　定例会（内容未定）
６月 17 日（木）19：00～　定例会（内容未定）
７月３日（土）ネパールゴミ問題シンポジウム（予定）
７月 15 日（木）19：00～　定例会
　ニュースレター発行打ち合わせ
８月 19 日（木）19：00～　定例会
　ニュースレター30 号発行
９月 16 日（木）19：00～　定例会
　地球市民どんたく準備
１０月４日（月）世界ハビタットデー行事
１１月６日（土）～7（日）地球市民どんたく２０１０
　アクロス福岡２Ｆ交流ギャラリー
11 月 18 日（木）19：00～　定例会
　ニュースレター発行打ち合わせ
12 月２日（木）19：00～　定例会
　ニュースレター第 31 号発行
１２月９日（木）19：00～
　国連ハビタット福岡本部、日本ハビタット協会との交流会（クリスマスパーティ）
☆スケジュールは、変更になることがありますのでメールやウェブサイトでご確認ください。
☆定例会の場所は、原則として、福岡市立青年センター5Ｆ福岡市 NPO・ボランティア交流センター「あすみん」



■事務局からのお願い

●2010 年度会費納入のお願い
ニュースレターの発行は、皆さん方の会費で成り立っています。皆様方のご協力をよろしくお願いします。
　年会費　一般 2,000 円　学生 1,000 円
会費の納入は、同封の郵便振り替え用紙で、下記へお願いします。
　郵便振替口座　０１７３０－０－７８４３４
　加入者名義　　ハビタット福岡市民の会

●ボランティア募集
ハビタット福岡市民の会の運営や活動のサポートに携わっていただく、ボランティア（運営委員や会員）を募集しております。（定例会などへの飛び入り参加歓迎）
国連ハビタットの活動に興味をお持ちの方、大学生などとくに若い方々の積極的な参加をお待ちしております。
お問い合わせは、下記連絡先へ。

編集後記

１月 12 日のハイチ地震に続き、２月 27 日にはチリ地震と近年災害が多いように思います。またタイでは、２つの政党が争い、とうとう日本人記者の犠牲者まで出てしまいました。災害は、忘れたころにやってくるといいますが、どうも忘れないうちにやって来ているようです。世界一の地震大国日本でも、危険地帯として『南海トラフ』が上がっています。最短周期は 300 年で、過去の地震が 1361 年、1707 年だったので、もうそろそろ起きてもおかしくないとか・・災害に備えましょう（牟田）

事務局・お問い合わせは

郵便物のあて先は：
〒810-0041　福岡市中央区大名２－６－４６
福岡市 NPO ボランティア交流センターあすみん連絡ボックス２号
お問い合わせは：
TEL　090-6770-2481（代表　牟田）
FAX　0942-41-2080
E-mail: muta@ktarn.or.jp
URL　http://cnhf.npgo.jp